

No31. ハロウィン DE ナイト

ハロウィンとはキリスト教カトリックの祝日のひとつで、すべての聖人と殉教者を記念する「諸聖人の日」(11/1)の前夜に行われる行事で、亡くなった家族や友人をしのぶ、西洋版のお盆とも言われるお祭りです。

現在は宗教的な意味合いは薄れ、カボチャのお化けを飾り「お菓子をくれないとイタズラをするぞー」と言って仮装した子ども達が家をめぐってお祭りになっています。

10/31(土)GHはちまんでハロウィンにちなんだ仮装?でカンパイしました。今では日本でも定着した行事となり、利用者皆さんの希望のご馳走でハロウィンの夜を楽しみました。



No32.

令和2年度職員ストレスチェック実施中



セルフケア（一人ひとりが行う自身の健康管理）のさらなる充実及び働きやすい職場環境の形成を目的に、労働安全衛生法に基づき、産業医および看護師（ストレスチェック実施者養成研修修了）を実施者としたストレスチェックを全職員実施中です。

自分にストレスがあるのか？ないのか？ 厚生労働省のチェックシート57項目を答えて頂くとストレス分析表が一人ひとりに回答されます。（看護師が個人に手渡して配布）

看護師がその回答をまとめデータにし、過去5年のデータと比較し、産業医と衛生委員会と協議し、職場環境の改善等必要か？検討しています。個人の相談窓口も設置してます。職員自身のストレスに向き合っていただく方法の一つだと考えています。

職場環境改善についてもアンケートを実施し、たくさんの意見を回答頂きました。衛生委員会ではこの一つひとつの意見をもれなく、運営委員会に提出し、返答を報告できればと思います。職員のメンタルヘルスに対する意識が少しでも上がると共に明るい職場環境になるようにとストレスチェックを実施中です。



No33. 創立53周年を迎えて



昭和42年11月16日苓山寮は誕生しました。当時45人だった定員を2回変更し90人へ、平成5年4月1日には60人と30人に分け第二苓山寮が誕生しました。

今はもう設立当初から生活されている利用者の方も職員もおりませんが、利用者の方に昭和43年に入所された方が何名かおられます。苓山寮で50数年生活をされています。

創立記念日には毎年交流会を催し、ご家族を交えて皆でお祝いします。

今年はコロナ禍の中、外部の方はお招きできませんでしたが、施設内でできること歌ったり、踊ったり、ハンドベル演奏と各班この日のために練習を積み重ね、精一杯の笑顔で披露されていました。

諸先輩方が築かれた苓山寮の良き歴史、伝統を守り、次世代へ伝えて行ければと思います。



No34. 実りの秋がとれました 11/18

春先に植えた芋の苗がすくすく育ったということで、天草市楠浦町の実習地へ芋掘りに行きました。

秋晴れの中、小さいもの大きいものいろいろな形の芋が土の中から出てきます。

洋服や顔についた土など全く気になりません。大きいものを掘られた方は、天に掲げ

自慢気に教えて下さいました。

今年は58Kgのサツマイモが収穫できました。12月の焼き芋大会で利用者の皆さんに振るまわれます。もう一つ秋の楽しみが残っていました。



↑大きいでしょう



←たくさん付いてますね

焼き芋が楽しみです→



No35. 2020・12月を楽しむ

12月はコカコーラ交流会、クリスマス会、もちつき、忘年会と行事が多く、利用者の皆さんにとって楽しみにされている月です。



今年は残念なことにコカコーラ交流会、市内飲食店での忘年会が中止されることとなりましたが、悔やんでいてもしょうがありません。施設内でできることをできる限り楽しもうと利用者の皆さんと全職員が一丸となり張り切っています。

12/1クリスマスの飾り付けをしました。今年は世界中が特別な年ではありますが、2020年の良い思い出になればと思っています。



↑ 中庭のイルミネーション ↑



左から 苓山寮玄関・第二苓山寮玄関・第二苓山寮ホールのクリスマスツリーです

12/8 : 苓山寮ゾーニング訓練実施

12/10 : 第二苓山寮コロナ初動・ゾーニング訓練実施



No36. **訓練**を実施してみて

12月1日熊本県もまたコロナ感染症危機的レベル4にまで引き上げられました。世間的には第3波とされ、全国でも九州でも新規感染者が増えてきています。

それに伴い施設でも全利用者濃厚接触を想定し、ゾーニング訓練を実施しました。ゾーニング対策とは、感染の被害拡大を防ぐために行う施設内隔離処置のことです。感染者エリアをレッドゾーン、高リスク者エリアをイエローゾーン、非感染者エリアをグリーンゾーンとし、区域の境が明確になるよう設置したり、レッドゾーンへ入る時の防護服着脱場所の確保等、各ゾーンですべきことを明確にし、間違えないようわかりやすく示さなければなりません。職員へは対策マニュアルを作成配付、防護服ガウンテクニック講習（看護師より）、コロナ対策DVD視聴も実施中です。

スムーズに各ゾーンを設置できるのか？レッドゾーン内で利用者の対応が完全にできるのか？利用者の方のストレス、職員のストレスはどんなものか？訓練を経て不具合な箇所やもっと手直してできる箇所等を検討でき、良いマニュアルが完成すると思います。

なかなか完全には行かず、利用者の方には窮屈な思いだったのかもしれませんが、万が一の想定訓練ができたことは本当に良かったです。



No38.

メリークリスマス♪ 12/24



少し寂しかったですが密を避けるため、今年のクリスマス会は別々に同時開催することとなりました。それぞれで楽しむ方法を考え、キャンドルサービスや仮装カラオケ、紙芝居とこの日のために練習してきたことを時間一杯披露することができました。

楽しみの一つサンタクロースからのプレゼント、話しを聞くと同じサンタが同時に現れ配られたそうです。そしてもう一つの楽しみ昼食のクリスマスプレート。ハンバーガー、チキン、フライドポテト、コールスロー、ジュース、ケーキと皿からはみ出さんばかりに盛り付けてありました。とても満足され、皆さん笑顔で食べられてました。



No39.

日本の文化で正月を迎える 12/29



今年は施設いや日本中、世界中がコロナウイルスに左右された一年になったような気がします。来年はこれからの生活スタイルを一新すべき年になるかもしれません。

施設では毎年、餅つき(12/25)、門松飾り(12/28)、鏡餅飾りやしめ縄飾り(12/30)を行っています。

門松とは、正月に家の門の前などに立てられる一対になった松や竹の正月飾り



です。

”松飾り”とも言い、木のこずえに神が宿ると考えられていたことから、門松は年神を家に迎え入れるための依り代という意味合いがあり、神様の目印になるように玄関にかざります。



来年は施設いや日本中、世界中に笑顔が広がりますように。





No40. 今年の運勢は？

1/4

新年明けましておめでとうございます。

今年のお正月は関係各位の皆様にご協力いただき帰省、面会をお断りさせていただきました。ご家族並びに、利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。

施設では毎年鈴木神社へ初詣に出向き参拝されます。参拝後、引きたい方はおみくじにて今年の運勢を占われます。今年は密を避けるために近くの十五社宮に参拝したため、利用者の方にお正月の気分だけでもと施設で手作りのおみくじを準備し、今年の運勢を引いていただきました。神様、仏様のアドバイスとまではいきませんが、笑顔でおみくじを友達や職員へ見せ合ったりされました。



昼食も今年はオードブル（大皿）を止め、皆さんが好きなメニューを一人ひとりに提供し、ビールやジュースで新年を

乾杯しました。



いつもとは違ったお正月を楽しんでいただけたのではないのでしょうか？

本年もレイザンTOPIXを更新していきますのでよろしくお願いいたします。



運勢や如何に!?



おみくじ
小吉
歯みがきががんばって
ハッピー♪



おみくじ
大吉
おいしいものが
たくさん食べられ
るでしょう